



宗四小だより

6月号

志木市立宗岡第四小学校
志木市上宗岡1-1-2
048-473-5250



<http://www.mune4syo.ed.jp/>

児童数598名 令和5年6月1日発行

目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』

絆を結ぶ食事の時間

校長 佐野 隆之

「食事の時間を共にすることは絆づくりにつながる」

と感じる場面に何度か出会いました。修学旅行や宿泊学習の時には特にそう感じました。「同じ釜の飯…」というように、不思議な連帯感が生まれるのです。教職30年の中で、そんな心地よい経験を子ども達からもりました。

残念ながら、コロナ禍の学校給食では「黙食」があたり前になってしまいました。それまでは、マナーを守りながら和気あいあいと食事の時間を楽しんでいました。担任の時には日替わりで班を回り、好きなテレビ番組やドラマの話題など…、授業中ではできない話をたくさんしましたし、給食の終盤にはおかわりじゃんけんで盛り上がるのがあたり前でした。当時の私にとっては、何気ないあたり前のことでしたが、黙食を経験した現在は、「食事の時間」が心と体の健やかな成長にとって大切な時間であることを改めて感じます。

私が教師になりたての頃、「個食」という言葉が話題になりました。また、「孤食」と書いて「孤独を感じる寂しい食事」として取り上げられたこともありました。その他にも、好きなものだけ固定して食べる「固食」や、食べる量が極端に少ない「小食」、味の濃いものを好んで食べる「濃食」など、食育は、時代とともに新たな課題として取り上げられてきました。給食も含めて、食事は単に空腹を満たすだけの行為ではありません。子どもにとって「食事の楽しみや喜び」は、一緒に食べる人や食事の内容などが互いに影響しあって、心と体の豊かな成長に結びついていくものだと考えています。

宗岡第四小学校では、今後も、安心安全でおいしい給食を提供することはもちろんのこと、新型コロナウイルス対応も少しずつ変化を見せる現在、絆を結ぶ給食の時間となるよう改めて見つめたいと考えています。

さて、子ども達は、親や兄弟姉妹といった家族の絆がしっかりできると、次には外へと自信をもって世界を広げていきます。「家族との絆」が「社会との絆」へと広がり、しっかりと自立していくといわれています。そう考えると、家族での食事は大きな役割をもった大切な時間かもしれません。ご家庭でも、家族の食事の時間をぜひ楽しんでください。